

理工学研究科に入学者増

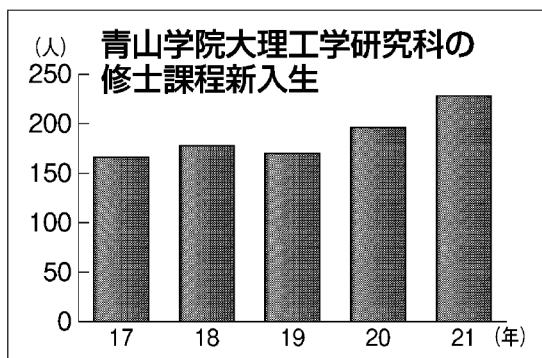
青山学院大

青山学院大学大学院では理工学研究科に入学する学生が増えている。内部進学の特遇制度や、手厚い研究指導が功を奏したことで修士・博士課程に進む学生が増えた。2021年度の入学者数は博士前期（修士）課程が前年度比約16%増、博士後期課程が同約2・7倍となった。長秀雄理工学部長兼理工学研究科長は「学部生の意識を高め、修士や博士課程への進学増につなぐ流れを確立したい」と意気込んでいる。

理工学研究科修士の228人（同35%）に入学者数は近年増加し伸びた。20年度の入学している。19年度は17者から授業料の免除や0人（理工学部入学時定員数の26%）だった。20年度に196人が、21年度は（同30%）、21年度は

経済的支援／研究指導が奏功

無試験の範囲拡大



半額にするといった内比が低く、教授（または准教授）と助教のサポートが功を奏した。同時に学部生が教員がそろった研究室に入塾した。同時に学部生が教員がそろった研究室に入塾した。同時に学部生が教員がそろった研究室に入塾した。

の成績上位者体制があると考えられ、無試験となる。理工系の中堅私立大学は専任教員1人当たりの学生数が10～20人程度と言われる中、青山学院大は4、5人にと目を向ける。青山学院大は4、5人にと目を向ける。青山学院大は4、5人にと目を向ける。

一連の支援が追い風となり、経済的な不安を抱えずに研究や論文執筆に打ち込む学生が増えている。博士号取得後に大手メーカーの研究職に就く学生も出てきており、修士・博士課程に進む学生を増やすための一つのモデルケースとなりつつある。